

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／日本史探究	時間数	週4時間
1学期中間試験					
単元名	武家社会の成長				使用教材
単元の概要	戦国時代へ移り変わる過程で、「庶民の台頭」が見られた社会的背景を考察する。また日本文化の特色の出発点となる室町文化を多角的に分析する。				『日本史探究』(山川出版)
評価規準			単元内容		
究	A3 本単元に関して、東アジア諸国とのつながりを見出すことができる。	B3 世界史的展開の中で、の室町時代の特色について説明できる	C3	○室町文化 ○戦国大名の登場 ○キリスト教と南蛮貿易	○室町文化の展示企画書をグループで作成する ○戦国マップを作成し考察する
活	A2 庶民の台頭や権力の分散過程を表現・説明できる。	本単元から問いを設定できる。	C2 C1を立証できる		
礎	A1 室町時代全体の内容を理解している。	B1 本単元に関する疑問を持てる。	C1 時代を通観する問いの仮説を立てられる。	ま	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・3人から4人のグループ活動を適宜実施する。 ・随時、思考力を問う問題演習をおこなう 	

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／日本史探究	時間数	週4時間
1学期期末試験					
単元名	近世の幕開け・幕藩体制の成立と展開			使用教材	
単元の概要	国際交流の進展や全国統一など、どのように時代が近世に転換したのかに着目し、問いを設定する。			『日本史探究』(山川出版)	
評価規準			単元内容		
究	A3 国際交流という視点から中世から近世への転換を表現・説明できる	B3 背景・原因から分析し、将来起こることを予測できる。	C3	<ul style="list-style-type: none"> ○織豊政権 ○桃山文化 ○幕藩体制の成立 ○幕藩社会の構造 ○幕政の安定 ○経済の発展 	
活	A2 ヨーロッパ諸国とのつながりを表現・説明できる。	B2 本単元から問いを設定できる。	C2 C1を立証できる		
礎	A1 中世から近世への時代の転換の内容を理解している。	B1 本単元に関する疑問を持てる。	C1 本単元で設定した問いをもとに仮説を立てられる	<p style="text-align: center;">〈留意点・評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・3人から4人のグループ活動を適宜実施する。 ・随時、思考力を問う問題演習をおこなう 	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／日本史探究	時間数	週4時間
2学期中間試験					
単元名	幕藩体制の動揺			使用教材	
単元の概要	近世の国家・社会の変容について多面的・多角的に考察し、近代化の基盤の形成を理解する			『日本史探究』(山川出版)	
評価規準			単元内容		
究	A3 本単元に関して、近代化とのつながりを見出すことができる。	B3 背景・原因から分析し、将来起こることを予測できる。	C3	○元禄文化 ○幕政改革 ○宝暦・天明期の文化 ○幕府の衰退と近代への道 ○化政文化	江戸文化に関する個人研究をおこなう
活	A2 幕府の政策、絵画・出版物から読み取れた内容を表現・説明できる。	B2 本単元から問いを設定できる。	C2 C1を立証できる		
礎	A1 幕政改革と江戸文化を理解している。	B1 本単元に関する疑問を持てる。	C1 本単元の問いの仮説を立てられる	〈留意点・評価〉 ・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・3人から4人のグループ活動を適宜実施する。 ・随時、思考力を問う問題演習をおこなう	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高3／本科・GS	教科／科目	社会／日本史探究	時間数	週4時間
2学期期末試験					
単元名	占領下の日本・高度成長の時代・激動する世界と日本				使用教材
単元の概要	我が国の再出発およびその後の政治・経済や対外関係を理解し、現代をたくましく生きていく術を養う				『日本史探究』(山川出版)
評価規準			単元内容		
究	A3 本単元に関して、現代世界とのつながりを見出すことができる。	B3 背景・原因から分析し、将来起こることを予測できる。	C3 激変する世界と日本について問題意識を持って考察し、その解決策を見だし解決に向かって具体的に行動できる	<ul style="list-style-type: none"> ○占領と改革 ○冷戦の開始と講和 ○55年体制 ○経済復興から高度成長へ ○経済大国への道 ○冷戦の終結と日本社会の変容 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校日本史の学習の総まとめとして問いを設定し、プレゼンをおこなう
活	A2 冷戦・冷戦終結が世界にもたらした変化を、具体的な事例をあげて表現・説明できる。	B2 本単元から問いを設定できる。	C2 C1立証できる		
礎	A1 占領下の日本と国際社会に復帰した日本のその後の政治や経済、対外関係を理解している。	B1 本単元に関する疑問を持てる。	C1 本単元で設定した問いをもとに仮説を立てられる	〈留意点・評価〉	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとに振り返りシートを作成し、記入する。 ・3人から4人のグループ活動を適宜実施する。 ・随時、思考力を問う問題演習をおこなう 	